

平成25年度
公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
第29回総会

議 案 書

開催場所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

開催日時：平成25年4月25日（木） 13時30分～14時30分

議事次第

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 議事
 - (1) 決議事項
 - 第一号議案 平成24年度事業報告
 - 第二号議案 平成24年度収支決算報告及び会計監査報告
 - 第三号議案 平成25年度事業計画（案）
 - 第四号議案 平成25年度収支予算（案）
 - (2) 報告事項
 - a) 公益社団法人の認定
 - b) 代議員選挙における支部推薦候補
 - c) 本部総会, シンポジウム
 - d) 本部研究発表会
4. 閉会

(1) 決議事項

○ 第一号議案 平成 24 年度事業報告

1) 総会・意見交換会

4月23日(月), 参加者50名のもとに, 東北学院大学・土桶キャンパス8館押川記念ホールにて開催した。平成23年度事業報告・収支決算, 平成24年度の事業計画, 予算を決議した。

2) シンポジウム

支部総会の後, 「東日本大震災を振り返って新しい防災と減災を考える」をテーマに, 宮城先生(海岸林域の津波被害と修復案の提案), 千葉先生(地震時の造成宅地の被害), 檜垣先生(斜面変動発生場の地形・地質地震動の特徴について)の報告があり, その後に討論が行われた。参加者約100名。

3) 現地検討会

10月18日(木), 19日(金)の二日間にあたって山形県鶴岡市の七五三掛地区及び西川町の志津地区で開催した。参加者54名。テーマ「豪雪地帯の大規模地すべり一対策工効果の検証と重視すべき着眼点の抽出」。

4) 講習会

7月27日(金)-28日(土)にかけて, 主催:GIS-Landslide研究会, 共催:当支部, 東北学院大学, (独)防災科学技術研究所の形で東北学院大学泉キャンパス・地域構想学科の教室で開催した。初日は講習会, 二日目は研究発表会が行われた。参加者初日約30名, 二日目約50名。

5) 社会貢献活動, 会勢活動

- ① 8月8日(水), 栗原市主催のジオガイド養成講座(座学・荒砥沢地すべり現地視察)に千葉支部長・宮城運営委員の両氏を講師として派遣。受講者約30名。
- ② 12月19日(水), 栗原市主催の栗駒山麓ジオガイド養成講座で, 千葉支部長, 宮城運営委員が地形・地質及び同市内のジオサイトの特徴について講演した。

6) 東日本大震災関連の活動

① 東日本大震災・調査報告会及び現地視察会

8月9日(木)～10日(金)にかけて, 主催:(社)日本地すべり学会(東日本大震災受託研究グループ)・東北支部・関東支部, 後援:国土交通省国土技術政策総合研究所・日本大学工学部初日, 日本大学工学部の形で開催した。

初日は郡山市内の日本大学工学部・62号館「ハットNE」で報告会が行われ, 檜垣会長ほか4名の報告があった(参加者約80名)。

二日目は葉ノ木平地すべり(白河), 上釜戸地すべり(いわき)二箇所での現地視察会が行われた(参加者約30名)。

② 仙台市造成宅地被災の対策事業を考える談話会

10月28日(日), 地盤工学会との共催で東北学院大学押川記念ホールにおいて開催。参加者約200名。行政, 市民, 専門家が一堂に会し, 対策工法, 造成宅地の耐震化についての相互理解を深める目的で行なった

③ 東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会定例会議

7学協会の定例会議が9/12, 10/10, 11/20, 11/21, 12/19, 1/28, 1/31, 2/6, 2/21に開催され、震災調査報告およびその報告書作成などについて話し合われた。代表として千葉支部長が参加。

3/21には、仙台市情報・産業プラザで、総括報告会が開催された。

7) 運営委員会, 幹事会, 役員会

① 運営委員会

3月18日(月), 東北工業大学一番町ロビーで開催。出席者15名。

平成24年度事業報告(案), 収支決算(案), 平成25年度事業計画(案), 予算(案)について審議を行い, 支部総会に諮る内容として了承を得た。

② 役員会議

- ・ 5月19日(土), 国土防災技術(株)東北支社・会議室で開催。参加者4名(支部長, 副支部長, 幹事長, 幹事)。今後の具体的な活動案についての打合せを行った。
- ・ 12月27日(水), 東北工業大学で開催。参加3名(支部長・副支部長・幹事長)。支部活動の進め方について協議した。

③ 拡大幹事会

- ・ 9月14日(金), (株)テクノ長谷・会議室にて開催。参加者13名。10/18-19開催予定の現地検討会の内容及び準備作業の分担について審議した。また支部学術合同調査会の動向について報告があった。
- ・ 2月16日(土), 東北工業大学一番町ロビー4階ホールで開催。参加13名。3/18開催予定の支部拡大運営委員会に提出する議題(案)について審議した。

○ 第二号議案 平成24年度収支決算

(収入の部)

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異	備考
協賛金・寄付金	400,000	480,000	△ 80,000	
支部協賛金	400,000	480,000	△ 80,000	
事業収入	780,000	662,000	118,000	
意見交流会	180,000	198,000	△ 18,000	
現地検討会	600,000	464,000	136,000	
雑収入	0	1,342	△ 1,342	
利子	0	231	△ 231	
その他	0	1,111	△ 1,111	
当年度収入合計	1,180,000	1,143,342	36,658	
前年度繰越収支差額	1,301,294	1,301,294	0	
収入合計	2,481,294	2,444,636	36,658	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異	備考
総会関係費	20,000	13,100	6,900	
事業企画費	72,000	31,684	40,316	
運営委員会	2,000	0	2,000	
幹事会	6,000	18,584	△ 12,584	
役員会	2,000	0	2,000	
部会	2,000	0	2,000	
通常旅費・交通費	50,000	13,100	36,900	
緊急調査費	5,000	0	5,000	
資料	5,000	0	5,000	
事業運営費	892,000	620,550	271,450	
意見交流	180,000	187,110	△ 7,110	
シンポジウム	5,000	0	5,000	
現地検討会	600,000	433,440	166,560	
会勢活動	90,000	0	90,000	
他学会共催行事	10,000	0	10,000	
講習会	7,000	0	7,000	
管理費	193,000	160,922	32,078	
ホームページ	33,000	0	33,000	
通信運搬費	70,000	63,180	6,820	
事務費	30,000	37,742	△ 7,742	
事務委託費	60,000	60,000	0	
予備費	50,000	0	50,000	
当年度支出合計	1,227,000	826,256	400,744	
当年度収支差額	△ 47,000	317,086	△ 364,086	
翌年度繰越収支差額	1,254,294	1,618,380	△ 364,086	

○ 第三号議案 平成25年度事業計画（案）

1) 支部総会

- ① 日時：平成25年4月25日（木）13時30分～14時30分
- ② 場所：仙台市戦災復興記念館

2) シンポジウム

- ① 日時：平成25年4月25日（木）14時40分～17時30分
- ② 場所：仙台市戦災復興記念館
- ③ テーマ：空間把握・解析技術の進展と斜面防災への活用
- ④ 趣旨：平成25年度は日本地すべり学会設立50周年にあたり，東北支部でも過去の活動を振り返り，あらたな展開を考える必要がある。とりわけ，地すべり地形判読と危険箇所評価手法確立に東北支部の果たした役割は大きく，一方で，空間把握・評価技術の大きな進展が見られる。シンポジウムでは，斜面防災に関わる地理空間情報とその解析技術を総括し，その活用可能性を議論する。
- ⑤ KW：空間把握，GIS解析技術，高精度DEM，リスク評価，GISの活用
- ⑥ 講演
 - ・ 【講演1】 テーマ：地すべり地形判読手法の確立
タイトル：地すべり地形の空中写真判読と危険度評価に関する先導的な成果
宮城豊彦教授（東北学院大学）
 - ・ 【講演2】 テーマ：空間把握の進展とGISの活用
タイトル：全日本における地すべり地形分布の把握とシームレス地すべり地形GISデータの公開
内山庄一郎（独立行政法人 防災科学技術研究所）
 - ・ 【講演3】 テーマ：高精度DEMによる空間把握とその活用
タイトル：DEMをベースとした立体地形図の作成と防災への活用
講演者：横山隆三（株式会社 横山空間情報研究所）
 - ・ 【講演4】 テーマ：GIS解析技術の適用
タイトル：GIS解析技術の地震時地すべりダム発生危険度ゾーニングへの応用
講演者：林一成（奥山ボーリング株式会社）
 - ・ 【講演5】 テーマ：GISをベースとした斜面変動リスクの評価
タイトル：既存の地理空間情報や航空レーザデータを活用した斜面リスク評価
小荒井衛（国土交通省 国土地理院）
 - ・ 【講演6】 テーマ：空間情報とその解析による斜面変動危険箇所評価手法の発展
タイトル：地震による斜面変動発生箇所の分布把握と危険箇所評価手法の検討
檜垣大助（弘前大学）
 - ・ 【総合討論】 司会：内山庄一郎（独立行政法人 防災科学技術研究所）

3) 意見交換会

- ① 日時：平成25年4月25日（木）18時00分～20時00分
- ② 場所：ホテルグランテラス仙台国分町（旧ホテルリッチフィールド）

4) 現地検討会

- ① 計画時期：平成 25 年 10 月を予定
- ② 計画場所：秋田県内の地すべり地
- ③ その他： H24 より輪番制（山形－秋田－福島－宮城－岩手－青森）に戻り，5 巡目に入っている。

5) 講習会

- ① 計画時期：平成 25 年 7～10 月
- ② 計画場所：未定
- ③ H24 と同様に空中写真判読と G I S

6) 社会貢献・会勢活動

- ① 緊急災害時の調査団派遣（調査団長：支部長，団員：対象県，近隣県の対応可能な支部員を中心編成）
- ② 出前講座：行政，関係団体などが主催する研修会への講師派遣（広報を積極的に行う）
- ③ 小中高校などの防災教育への取り組みを模索したい。
- ④ 栗原市ジオパーク構想におけるビューポイントの設定や，インストラクター要請講座などのへの支援。

7) 他学協会との交流活動

- ① 各種行事を共催，後援などのかたちで関連学会・協会などに働きかける。

8) 広報活動

- ① 支部のホームページで情報発信を行う。

9) 幹事会など

- ① 運営委員会（開催月：3月）
- ② 幹事会（支部総会開催前，現地検討会開催前，支部運営委員会開催前，計3回）
- ③ 役員会（随時開催）

○ 第四号議案 平成25年度収支予算（案）

（収入の部）

（単位：円）

科 目	本年度予算	前年度予算	差異	備考
協賛金・寄付金	480,000	400,000	80,000	
支部協賛金	480,000	400,000	80,000	
事業収入	930,000	780,000	150,000	
意見交流	180,000	180,000	0	
現地検討	450,000	600,000	△ 150,000	
講習会	300,000	0	300,000	
雑収入	0	0	0	
利子	0	0	0	
その他	0	0	0	
当年度収入合計	1,410,000	1,180,000	230,000	
前年度繰越収支差額	1,618,380	1,301,294	317,086	
収入合計	3,028,380	2,481,294	547,086	

（支出の部）

（単位：円）

科 目	本年度予算	前年度予算	差異	備考
総会関係費	30,000	20,000	10,000	
事業企画費	125,000	72,000	53,000	
運営委員会	5,000	2,000	3,000	
幹事会	25,000	6,000	19,000	
役員会	5,000	2,000	3,000	
部会	5,000	2,000	3,000	
通常旅費・交通費	50,000	50,000	0	
緊急調査費	30,000	5,000	25,000	
資料	5,000	5,000	0	
事業運営費	1,240,000	892,000	348,000	
意見交流	180,000	180,000	0	
シンポジウム	200,000	5,000	195,000	
現地検討会	500,000	600,000	△ 100,000	
会勢活動	30,000	90,000	△ 60,000	
他学会共催行事	30,000	10,000	20,000	
講習会	300,000	7,000	293,000	
管理費	273,000	193,000	80,000	
ホームページ	33,000	33,000	0	
通信運搬費	100,000	70,000	30,000	
事務費	40,000	30,000	10,000	
事務委託費	100,000	60,000	40,000	
予備費	50,000	50,000	0	
当年度支出合計	1,718,000	1,227,000	491,000	
当年度収支差額	△ 308,000	△ 47,000	△ 261,000	
翌年度繰越収支差額	1,310,380	1,254,294	56,086	

(2) 報告事項

a) 公益社団法人の認定

昨年9月7日に開催された内閣府の公益法人移行の答申委員会において、(社)日本地すべり学会の公益法人化の答申がなされ、同年10月1日をもって公益社団法人への移行が確定した。

11月6日には公益社団法人日本地すべり学会の第1回理事会が開催され、さらに11月30日に公益社団法人としての初の総会(臨時社員総会)が都内の日本青年館ホテルで行われた。総会の席上、檜垣大助会長より、「今後、これまでの蓄積の上に立って公益法人の名にふさわしい学会活動の進展と的確な学会運営に努めていきたい」との所信表明があった。

b) 代議員選挙における支部推薦候補

- 候補者の要件：公益社団法人の日本地すべり学会の正会員。理事との兼任はできない。
- 東北支部の定数：7名
- 候補者の選定：東北支部から推薦された候補者は、地すべり学会正会員による投票を経た上で、正式に代議員として選出される。
- 代議員の役割：公益社団法人日本地すべり学会定款第21条に示されている。

「代議員で構成される総会は定款の変更、貸借対象表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の承認、役員を選任又は解任等、最高意思決定機関としての役割を有する」。

- 支部推薦候補者：
 - ・ 井良沢道也(岩手大学農学部)
 - ・ 梅村 順(日本大学工学部)
 - ・ 金子和亮(日本工営仙台支店)
 - ・ 池田浩二((株)テクノ長谷)
 - ・ 熊井直也(国土防災技術(株)東北支社)
 - ・ 山田孝雄(奥山ボーリング(株))
 - ・ 大澤宏明((株)復建技術コンサルタント)

c) 本部開催事業

- 総会、シンポジウム
 - ・ 日時：平成25年5月24日(金)10時～17時
 - ・ 場所：東京大学本郷キャンパス武田先端知ビル5階、武田ホール
- 第52回研究発表会、現地見学会
 - ・ 県民講演会：平成25年8月28日(木)、島根県民会館
 - ・ 特別講演、研究発表会：8月29-30日、島江県民会館
 - ・ 意見交換会：8月29日、ホテル一畑
 - ・ 現地見学会：8月31日～9月1日、松江コース、石見銀山コース、隠岐コース
- 研究発表会申し込み
 - ・ 5月13日(月)～6月3日(月)

d) その他

平成24・25年度東北支部役員等名簿(敬称略)

2013. 4. 24現在

顧問	盛合禧夫 (東北工業大学 名誉教授) 佐々木公典 (元秋田県企業局長)
支部長	千葉則行 (東北工業大学工学部 教授)
副支部長	橋本喜次 (宮城県防災砂防課 課長) 濱崎英作 (㈱アトバンテクノロジー 社長/㈱三協技術 専門役)
運営委員	阿部真郎 (奥山ホールディングス 相談役) 伊藤 驍 (国立秋田高専 名誉教授 秋田大学講師) 井良沢道也 (岩手大学農学部 教授) 梅村 順 (日本大学工学部 講師) 大河原正文 (岩手大学工学部 准教授) 大月義徳 (東北大学大学院理学系研究科 助教) 奥山武彦 (山形大学農学部 教授) 加藤 彰 (㈱テクノ長谷 部長) 橋本修一 (東北電力 調査役) 檜垣大助 (弘前大学農学生命科学部 教授) 三上登志男 (㈱復建技術コンサルタント 技師長) 宮城豊彦 (東北学院大学教養学部 教授) 八木浩司 (山形大学地域教育文化学部 教授) 山崎孝成 (国土防災技術 技術本部長) 磯部良太 (国土交通省東北地方整備局河川計画課 課長) 藤澤和範 (国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所 所長) 小徳 基 (農林水産省東北農政局資源課 地質官) 山田 育夫 (農林水産省東北農政局防災課 課長) 岸 功規 (林野庁東北森林管理局治山課 課長) 今 孝治 (青森県河川砂防課 課長) 野呂 公 (青森県林政課 課長) 佐藤龍司 (秋田県森林整備課 課長) 倉部明彦 (秋田県農地整備課 課長) 加藤郁郎 (岩手県砂防災害課 総括課長) 佐藤順一 (岩手県森林保全課 総括課長) 堀田洋一 (福島県砂防課 課長) 加藤政樹 (福島県森林保全課 課長) 小島重紀 (福島県農村基盤整備課 課長) 清水信雄 (山形県砂防・災害対策課 課長) 梅津勘一 (山形県森林課 森林技術主幹) 渡邊正弘 (山形県農村整備課 課長) 森崎耕一 (東日本高速道路 東北支社技術企画課 課長) 村山雅史 (東日本旅客鉄道 仙台支社 工事課長) 三和 公 (東北電力 土木建築部 部長) 奥山和彦 (斜面防災対策技術協会東北支部 支部長) 森屋 洋 (奥山ホールディングス 本部長) 熊井直也 (国土防災技術 東北支社 技術部長) 早坂 功 (㈱テクノ長谷 社長) 伊藤 握 (㈱日さく秋田支店 支店長) 金子和亮 (日本工営 仙台支店 専門部長) 小林俊樹 (㈱復建技術コンサルタント 技師長)
監事	齋藤春美 (秋田県河川砂防課 課長・参事兼務) 小杉徳彦 (宮城県森林整備課 課長)

<幹事会>

幹事長	山科真一					
副幹事長	渡辺 修	佐藤健一	山田孝雄			
幹事	池田浩二	押見和義	黒墨秀行	渋谷 保*	鈴木 滋*	鈴木俊司*
*(執行)	瀬野孝浩	高野邦夫	高橋克実	高見智之	新田邦弘	三嶋昭二

支部協賛会社（34社）

(社)斜面防災対策技術協会 東北支部
(株)アドバンテクノロジー
応用地質(株) 東北支社
奥山ボーリング(株)
川崎地質(株) 北日本支社
基礎地盤コンサルタンツ(株) 東北支社
(株)計測技研
国際航業(株) 東北支社
国土防災技術(株) 東北支社
(株)新東京ジオ・システム
(合)スイモンLLC
(株)測商技研
大成基礎設計(株) 東北支社
(株)ダイヤコンサルタント 東北支社
地質基礎工業(株)
中央開発(株) 東北支店
(株)テクノ長谷
(株)東建ジオテック 東北支店
(株)ドーコン 東北支店
東邦技術(株)
東北ボーリング(株)
土木地質(株)
日栄地質測量設計(株)
(株)日さく 秋田支店
日鉄鉦コンサルタント(株) 東北支店
日特建設(株) 東北支店
日本基礎技術(株) 東北支店
日本工営(株) 仙台支店
(株)平野組
不二ボーリング工業(株) 仙台支店
(株)復建技術コンサルタント
三菱マテリアルテクノ(株) 秋田支店
明治コンサルタント(株) 東北支店
ライト工業(株) 仙台支店